

うるま市のごみ処理経費・ごみ搬入量・資源化量等について

中部北環境施設組合に搬入された令和元年度のごみ量は、前年度と比較して増加しています。ここ数年概ね横ばいの状況にありますが、市民一人当たりのごみ処理に係る経費が多額であります。より一層うるま市が推進するごみ分別、リサイクルの取り組みを徹底し、ごみの減量化を図る必要があります。

1. 令和元年度ごみ処理経費

経費区分	金額	市民1人当たり年間負担金額	1世帯当たり年間負担額
ごみ収集運搬等諸経費	2億4,000万円	1,927円	4,483円
負担金	ごみ処理経費	8,182円	19,036円
	最終処分費	219円	509円
ごみ処理総事業費	12億8,627万円 (11億6,897万円)	10,328円 (9,423円)	24,028円 (22,310円)

* ()内の数値は平成30年度実績です。



2. ごみ搬入量

ごみの種類	平成30年度	令和元年度	前年度比較	市民1人当たり1日の排出量	1世帯当たり年間負担額	
可燃ごみ	33,559 トン	33,731 トン	172 トン	742.0 グラム	1,726.3 グラム	
不燃ごみ	844 トン	899 トン	55 トン	19.8 グラム	46.0 グラム	
粗大ごみ	696 トン	717 トン	21 トン	15.8 グラム	36.7 グラム	
負担金	缶類	319 トン	378 トン	59 トン	8.3 グラム	19.4 グラム
	びん類	903 トン	886 トン	-17 トン	19.5 グラム	45.3 グラム
	ペットボトル	372 トン	389 トン	17 トン	8.6 グラム	19.9 グラム
	古紙類	425 トン	607 トン	182 トン	13.3 グラム	31.1 グラム
合計	37,118 トン	37,607 トン	489 トン	827.3 グラム	1,924.7 グラム	

3. 資源化量

ごみの種類	平成30年度	令和元年度	前年度比較
缶類	269 トン	311 トン	42 トン
金属類	472 トン	447 トン	-25 トン
びん類	857 トン	845 トン	-12 トン
ペットボトル	338 トン	350 トン	12 トン
古紙類	299 トン	455 トン	156 トン
蛍光管	19 トン	20 トン	1 トン
乾電池	33 トン	33 トン	0 トン
スラグ	2,224 トン	2,388 トン	164 トン
メタル	22 トン	23 トン	1 トン
合計	4,533 トン	4,872 トン	339 トン

* 令和2年1月末の人口124,544人、世帯数53,533世帯、平成31年1月末の人口124,051人、世帯数52,396世帯です。

* 端数処理をしている為、数値が一致しない場合があります。

* 資源化量の金属類は、不燃ごみ・粗大ごみから破碎・分別して出てきたものです。

* 資源ごみ搬入量と、資源化量の数値の違いは、手選別作業による異物除去のためです。

* 負担金とは、ごみ処理事業を行う為に必要な経費をうるま市から中部北環境施設組合にあてる、ごみ処理経費です。

4. 最終処分量

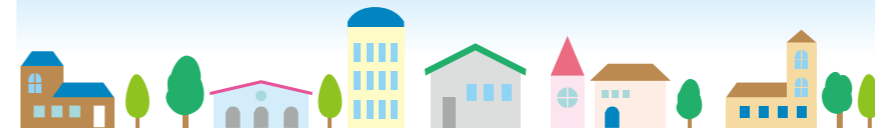
種類	平成30年度	令和元年度	前年度比較
飛灰	1,139 トン	1,090 トン	-49 トン

ごみを減らす4R運動を実践しよう。

ごみを減らすためには、一人ひとりがごみを減らす意識を持つことが大切です。そこでごみを減らす4つのRを心がけて、環境にやさしく、大切な資源として活かす取り組みを始め、ごみ減量へのご協力をお願いします。

1 リフューズのR → ごみを持ち込まない。	○ 不要な物は買わない、貰わない。 ○ ごみになる物は断る。 ○ マイバックを持参しよう。
2 リデュースのR → ごみを減らす。	○ 必要なものを必要な量だけ購入する。 ○ 食品を買すぎない、作りすぎない、食べ残さない。 ○ 生ごみは十分な水切りをする。(生ごみの約8割は水分)
3 リユースのR → 再使用する。	○ 使えるよう修理してみる。 ○ 別の使い方を考える。 ○ 欲しい人にゆずる。
4 リサイクルのR → 再利用する。	○ 資源を正しく分別する。 ○ 買ったお店で回収ボックスを利用する。 ○ 生ごみを堆肥にする。

お問い合わせ：中部北環境施設組合 ☎972-6619



おめでとうございます

公共の利益のため、それぞれの道で永年にわたり尽力され、多大な功績を残された方々に送られる叙勲や、警察官ら危険性の高い仕事に従事した危険業務従事者叙勲の受章者が発表されました。
(順不同)

瑞宝双光章

松本 俊一氏 (65) (栄野比)
海上保安功労
元海上保安官

藍綬

仲里 初枝氏 (71) (勝連内間)
統計調査功績
元労働力調査員

黄綬

新門 美智子氏 (65) (与那城平安座)
業務精励 (郵便集配業務)
現郵便集配受託者

叙勲受賞

6/1 うるま市のいまを知るため 国勢調査うるま市実施本部を設置



令和2年国勢調査うるま市実施本部を設置しました。

国勢調査は、5年に一度、全国一斉に実施する国の最も基本的で重要な統計調査です。

うるま市では、約12万4千人、約5万4千世帯を対象に、9月中旬頃から10月中旬頃の間、調査員が調査票の配布・回収

を行ってまいりますので、国勢調査へのご理解とご協力をお願いいたします。

6/10 赤野区創立100年記念誌 完成



平成29年に創立100周年を迎えた赤野区の記念誌が約3年間の編集期間を経て完成し、同区記念事業期成会より島袋市長へ記念誌が贈呈されました。

受け取った島袋市長は、「赤野区の伝統と歴史を後世に伝える記念誌だ」と発刊を喜びました。

5/21 1ヵ月半遅れ 待ちわびた入学式 感染予防もしっかりと！ピカピカの1年生



5月21日、市内小学校で新型コロナウイルスの影響で延期されていた入学式が行われ、1,369人が新1年生となりました。天願小学校で行われた入学式は感染症予防のためマスク着用で行われましたが、子ども達は待ちわびた新生活のスタートに、期待に胸を弾ませている様子でした。

6/4 中原小 文科大臣表彰 創意工夫した図書館経営、が評価



市立中原小学校が、子どもの読書活動の実践内容が高く評価され、文部科学大臣より表彰されました。表彰を受け目取真校長と下地図書館司書は「子ども達にいつでも興味をそられる様な図書館でありたい」と話し、嘉手刈教育長とともに喜びを分かち合いました。